

アセトン反応		128000		
L-aceton		担当部署		
		血液		
検査オーダー				
患者同意に関する要求事項		特記事項なし		
オーダーリング手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*2.分野別→髄液一般検査→		
	2			
	3			
	4			
	5			
検査に影響する臨床情報		<ul style="list-style-type: none"> 紙が劣化すると試験部分が本来の色調から変化したり又は黒ずんでくる。 試験紙を他の容器に移し変えると試験紙の品質が劣化したり、反応性が低下することがある。 		
検査受付時間		8:15~16:00		
検体採取・搬送・保存				
患者の事前準備事項		特記事項なし		
検体採取の特別なタイミング		特記事項なし		
検体の種類	採取管名	内容物	採取量	単位
1 髄液	35滅菌管	なし	10	mL
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
検体搬送条件		室温		
検体受入不可基準		1) 採取容器違いの検体（ヘパリン添加不可） 2) 採取量不足の検体 3) サンプリングできない検体		
保管検体の保存期間		室温・当日中（追加検査については、検査室に要問合せ）		
検査結果・報告				
検査室の所在地		病院棟3階 中央検査部		

測定時間		当日中				
生物学的基準範囲		(-) EX 共通 CL1141 : 「臨床検査法提要 改訂第 35 版」				
臨床判断値		設定なし				
基準値					単位	なし
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値	
設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	
パニック値	高値	設定なし				
	低値	設定なし				
生理的変動要因		特記事項なし				
臨床的意義		<p>日本脳炎のような重篤な全身疾患では、多くの重要臓器の器質的機能的障害が起こり、特に肝における脂肪代謝が障害されてケトン体が血液、髄液、尿中に増量する。日本脳炎では、発病 5 日以内に必ず髄液アセトンが陽性となる。糖尿病性ケトアシドーシス、子癇でも上昇するほか、髄膜炎、脳出血などでも全身性の異化が持続すると出現する</p> <p>EX 共通 CL1141 : 「臨床検査法提要 改訂第 35 版」 134-135</p>				